

# 気になるニュース わたしの視点

4日の西濃面に、「みんなで大垣生き物図鑑 アプリ活用、投稿写真を基に分布図」という、大垣市が取り組みを始めたデジタル図鑑の記事が出ていました。

ネット検索をはじめ、金融サービス、生成人工知能（AI）など、インターネットの技術は、リアルタイムでつながり、知りたいときに知りたい情報がすぐにわかる形で、世の中のいろいろな仕組みを大きく変えてきました。特に最近では、大垣市の活動のように「だれもが参加でき、互いに評価しあい、そして高め合う」という仕組みが注目されています。

「口コミサイト」がその典型で、これまではリアルな口コミでの拡がりでした。着けなかった評価を、インターネットを介して、多くの声を可視化できるようになりました。また投稿内容を、閲覧

道家経営・法務事務所代表 道家睦明氏



## アプリ活用、投稿写真で図鑑

# 参加型で活動の「ファン」に

### みんなで大垣生き物図鑑

一人一人が調査員。大垣市はスマートフォンアプリを使って、市内の生き物を撮影してデジタル図鑑を作成する「みんなで大垣生き物図鑑」をスタートさせた。生き物愛好者から、市民生活者まで幅広い層から参加が期待されている。図鑑には、撮影された写真と、撮影日時、場所、生息環境などの情報を登録し、それを基に分布図を作成する。市民生活者から、生き物愛好者まで幅広い層から参加が期待されている。図鑑には、撮影された写真と、撮影日時、場所、生息環境などの情報を登録し、それを基に分布図を作成する。

### アプリ活用 投稿写真を基に分布図



市が募集 気候影響も調査  
大垣市は、気候変動の影響を調査するために、市民生活者から、生き物愛好者まで幅広い層から参加が期待されている。図鑑には、撮影された写真と、撮影日時、場所、生息環境などの情報を登録し、それを基に分布図を作成する。

8月4日付10面（西濃地域面）より

みんなで大垣生き物図鑑  
大垣市は、気候変動の影響を調査するために、市民生活者から、生き物愛好者まで幅広い層から参加が期待されている。図鑑には、撮影された写真と、撮影日時、場所、生息環境などの情報を登録し、それを基に分布図を作成する。

「エクスト」です。4年前に、火災により首里城が焼失した時に、首里城の写真をインターネット経由で提供してもらい、三次元の首里城のデータを再現するというものです。

世界中の3千人以上から、8万枚の画像の提供により実現しています。また、同様の参加型の仕組みとしては、ネットを介して活動を提案し、資金を集めるという「クラウドファンディング」も数多く利

使われています。事業や団体の活動で考えてみると、提供する側の視点だけでなく、自己満足的に展開してうまくいかなかった事例が多くあります。その原因には、お客さまなどの視点をあまり考慮しなかったことが挙げられています。

商品やサービスを開発するにしても、参加型の機能を活用して、お客さまとともに企画できる時代になってきました。最終的に、それらの活動の「ファン」となっていたために、お客さまにも参加していただく仕組みを、最初から取り入れてみてはどうでしょうか。

（引用記事は26日付電子版最終面に掲載）



電子版利用会  
のためはこ  
の登録は  
員ちら